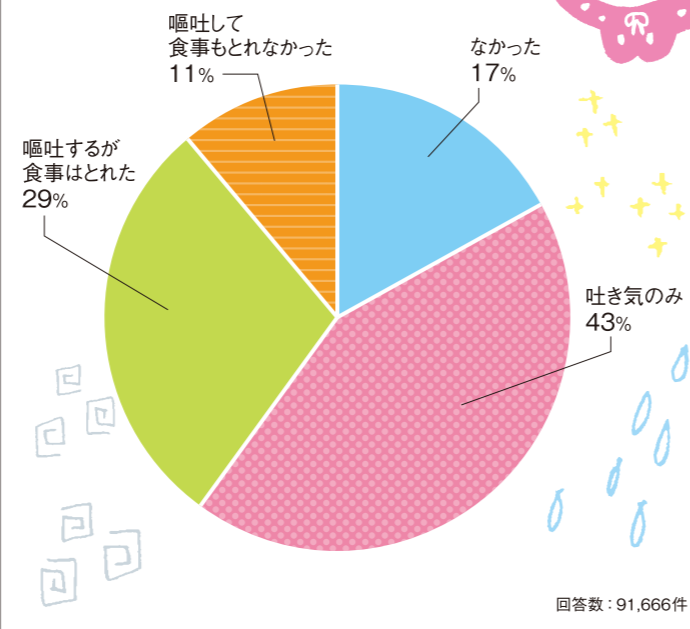


# つわりの程度はこどもの性別と関係がある??

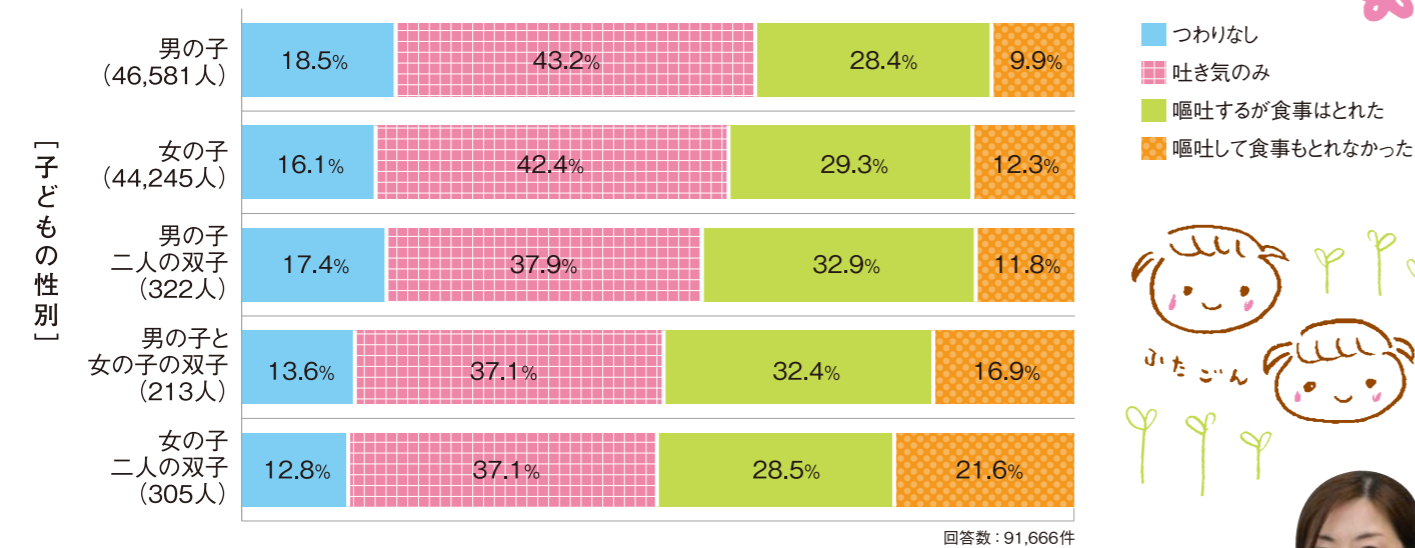
高知ユニットセンターの研究者、満田直美先生が妊娠中のつわりの程度と子どもの性別との関連について、エコチル調査のデータを用いた論文を発表しました。

妊娠中に回答していただいた「妊娠してから妊娠12週頃までの間につわりの症状はありましたか。」という質問に対する「なかった」「嘔気のみ」「嘔吐するが食事はとれた」「嘔吐して食事もとれなかった」という4つの選択肢のうち、「嘔吐して食事もとれなかった」と回答した人は、女の子を妊娠中のお母さんに多く、中でも女の子二人の双子を妊娠中のお母さんが「嘔吐して食事もとれなかった」と回答している割合が最も高いことがわかりました。つわりの症状の程度には個人差が大きく、つわりが起きるメカニズムについてはまだ不明な点がたくさんありますが、今回の結果から子どもの性別もつわりの程度に影響していると考えられます。みなさんはどうでしたか?

▶妊娠してから妊娠12週頃までの間につわりの症状はありましたか。



▶つわりの程度と子どもの性別との関連



満田 直美先生  
高知大学  
医学部附属病院  
小児科医師



2000年前に古代ギリシアの医師ヒポクラテスは、「女の子を宿すと母親の顔が青白くなり、男の子を宿すと健康な顔をする」と述べていたそうです。今回の調査結果を言い当てているようで興味深いですね。昔の人はつわりの程度で赤ちゃんの性別を予測していたのかもしれないね。

お問い合わせ  
◆エコチル調査コールセンター〈全国共通〉  
☎0120-53-5252 | 年中無休 | 9:00-22:00 |  
◆エコチル調査ホームページ  
エコチル調査 検索  
http://www.env.go.jp/chemi/cch/

◆こうちエコチル調査に関するお問い合わせ〈高知県〉  
登録された内容に変更があった場合は、下記までご連絡ください。  
TEL 088-880-2173 | 土・日・祝日をのぞく | 9:00-17:00 |  
mail info@kochi-ecochil.jp  
こうちエコチル 検索 http://kochi-ecochil.jp/  
| 高知大学医学部内 エコチル調査 高知ユニットセンター事務局 |  
〒783-8505 南国市岡豊町小蓮  
| 高知大学内 朝倉分室 | 〒780-8520 高知市曙町2丁目5-1



高知大学 Koshi University  
こうちエコチル調査  
Kochi/Nanokoku/Konan/Kami/Shimanto/Sukumo/Tosashimizu/Yusuvara/Kuroshio/Otsuki/Mihara



# 「子どもの健康と環境に関する全国調査」 エコチル調査報告書

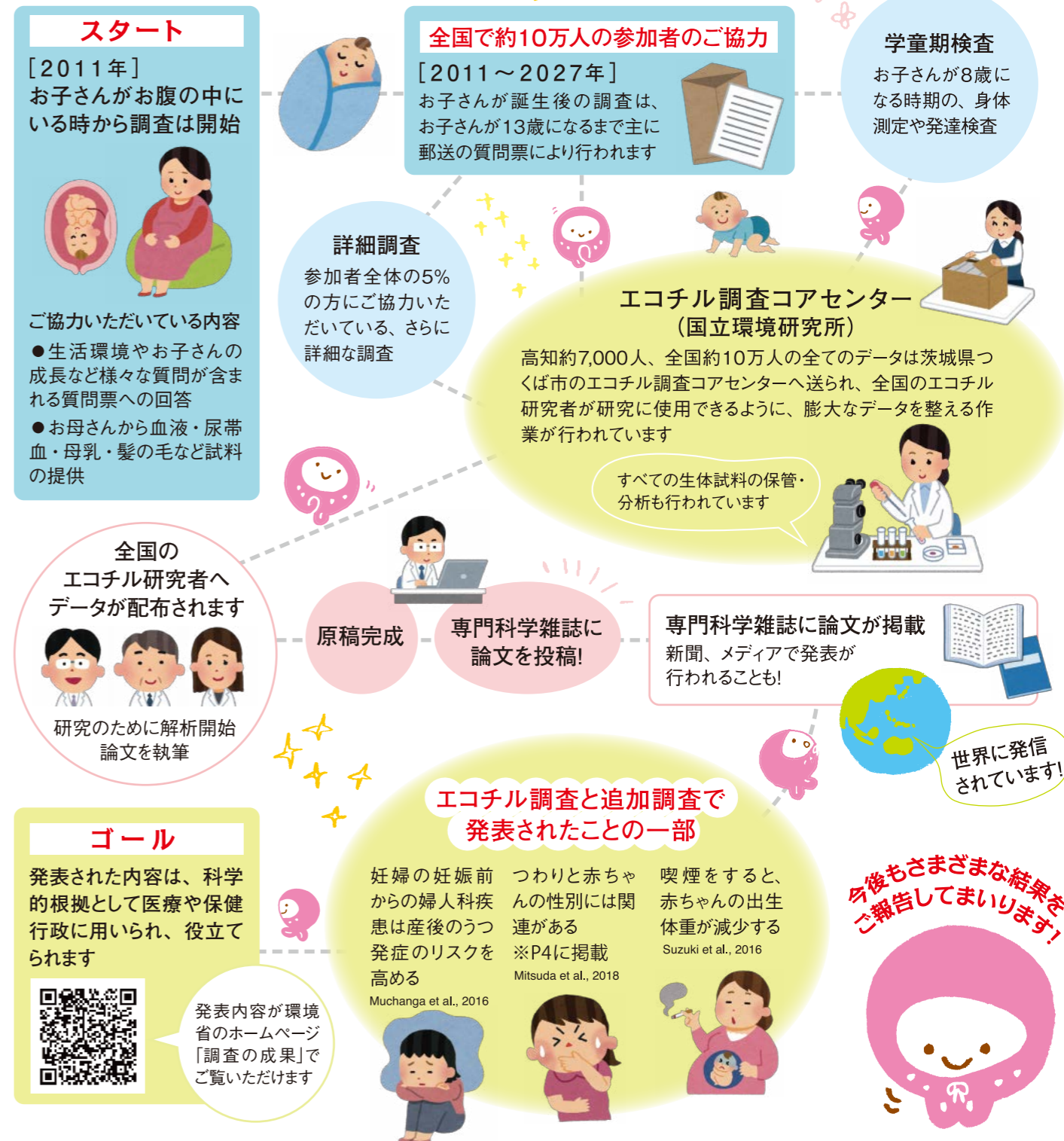
高知版  
2018年12月  
vol.4

エコチル調査は、環境省の全国調査で今年で調査開始から8年目を迎えました。

参加者の皆様から半年ごとにいただく質問票の回答や、参加者の5%の方にご協力いただいている詳細調査によって追跡調査が進んでおります。今後、参加者のお子さんが8歳(小学校2年生)となる時期には学童期の検査の実施も計画しております。地域の皆様とともに、未来の子ども達のために、まだまだ続くエコチル調査。次世代のお子さんが安心して暮らせるよりよい環境づくりのために、ご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

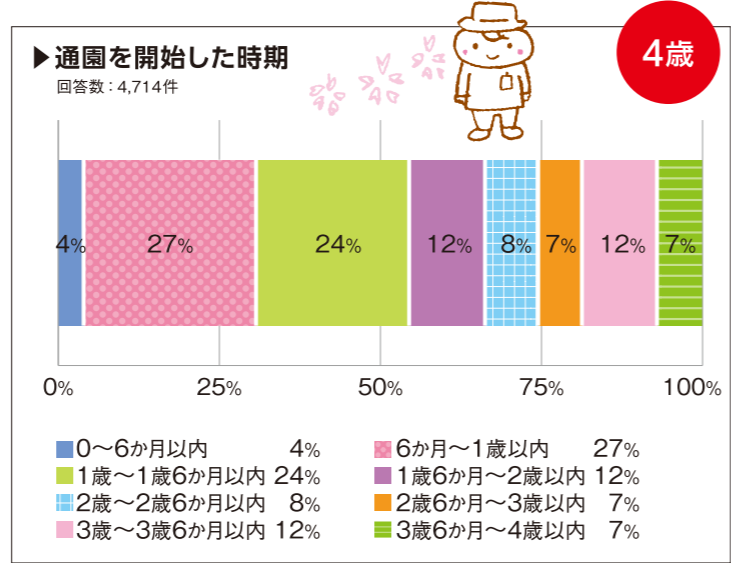
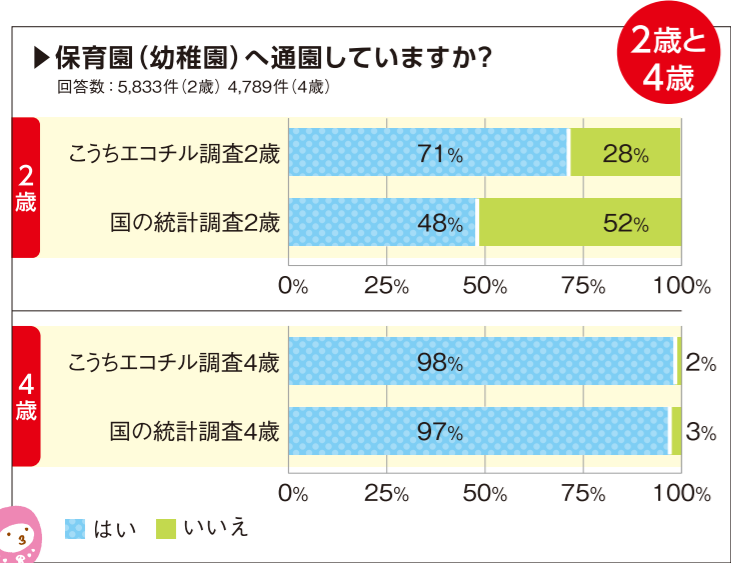
エコチル調査高知ユニットセンター スタッフ一同

## エコチル調査の道のり

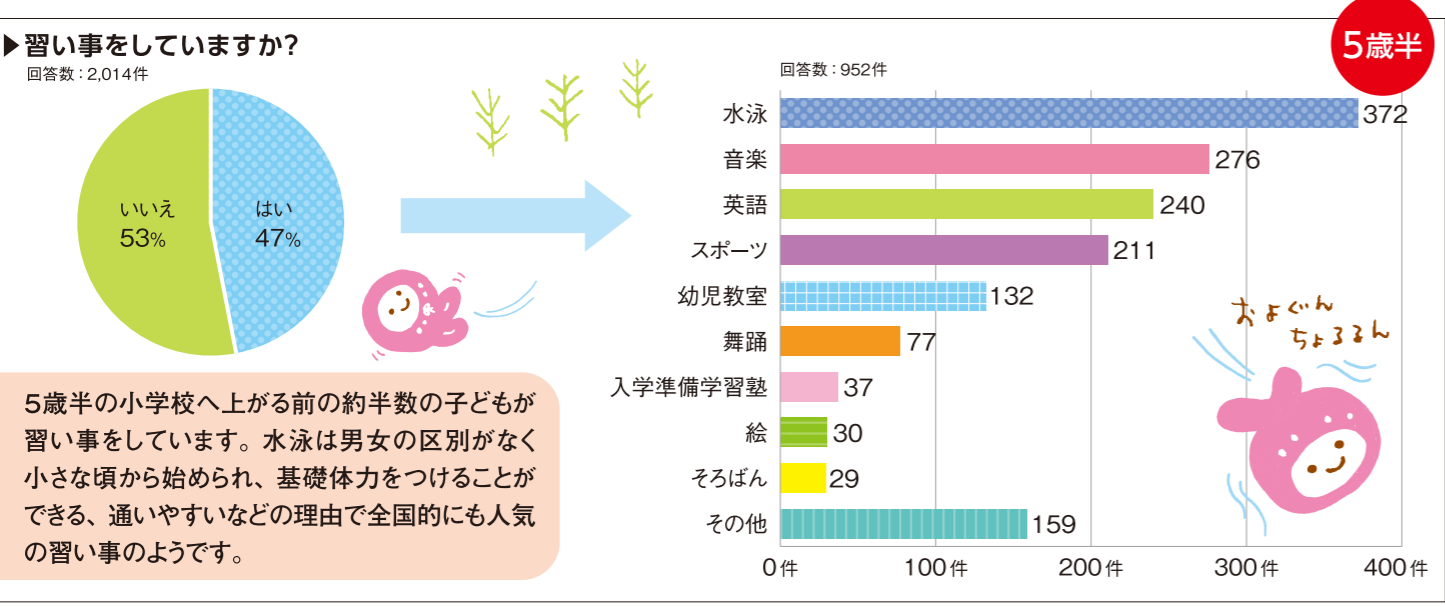
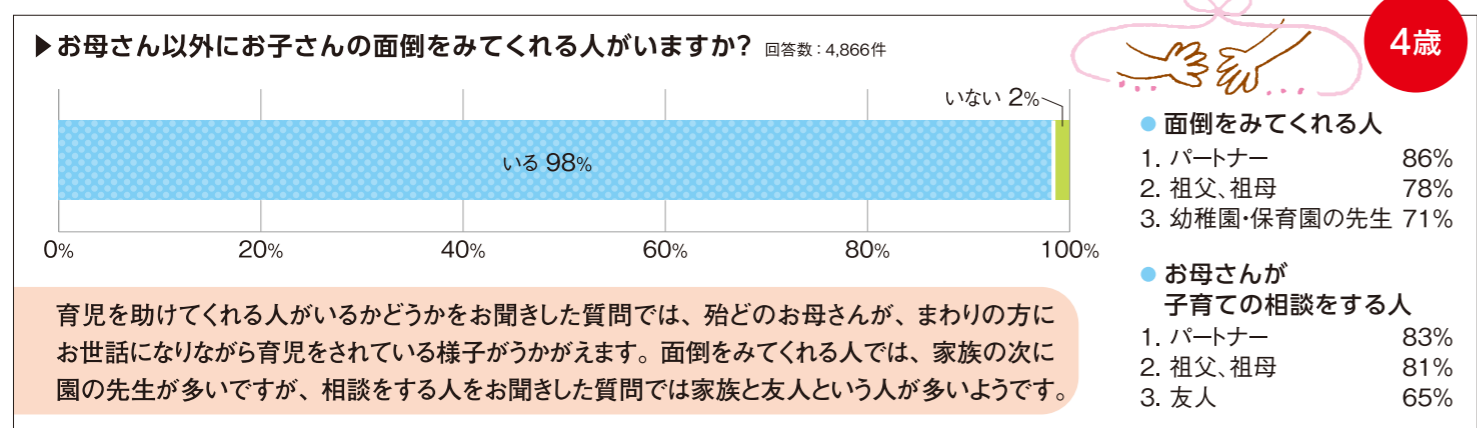


# エコチル調査でみる高知の子どもの暮らし

こうちエコチル調査の2歳から5歳半の質問票からの結果です。国の統計情報も併せて掲載しています。



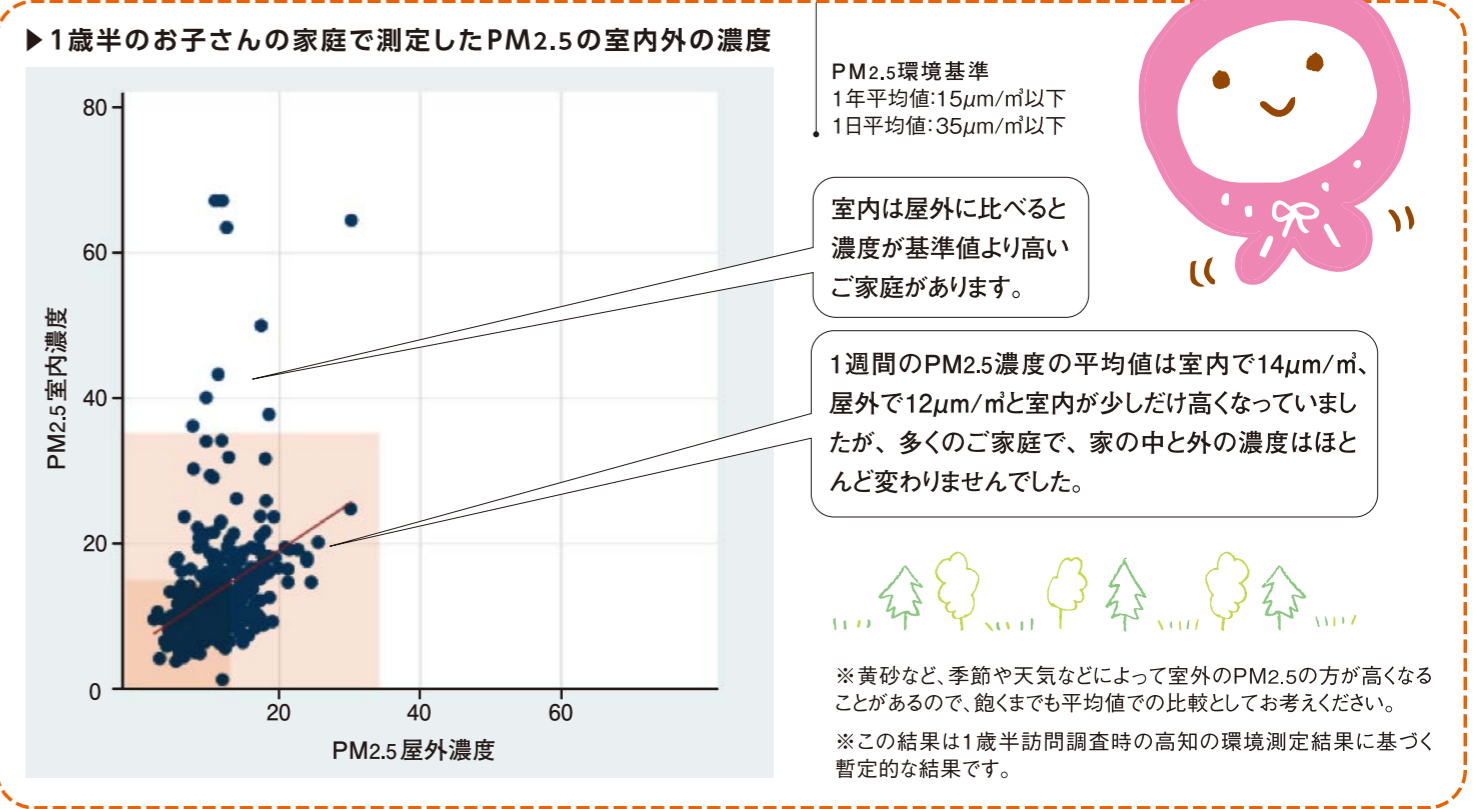
こうちエコチル調査では2歳のお子さんの71%、4歳の98%のお子さんが幼稚園か保育園などに通園しているという結果でした。H29年の文部科学省と厚生労働省の複数の調査の統計によると、全国で保育園(幼稚園・こども園)に通園をしている子どもは、2歳児の48%、4歳児の97%となっています。通園を開始した時期を調べたグラフからは、高知では子どもの通園開始が早いことがわかります。H29年総務省の就業構造基本調査によると未就学児を育児中の女性就業率は全国平均が64.2%のところ、高知は80.5%で第3位です。エコチル調査の結果からも高知では育児をしながら働いているお母さんがとても多いことがわかります。



\*注意 この結果は2018年10月末時点のこうちの回答に基づく(データクリーニング前の)暫定的な結果です。数値は小数点以下四捨五入しています。%の加算値がちょうど100にならないものがあります。

# お家のまわりの環境物質 PM2.5について

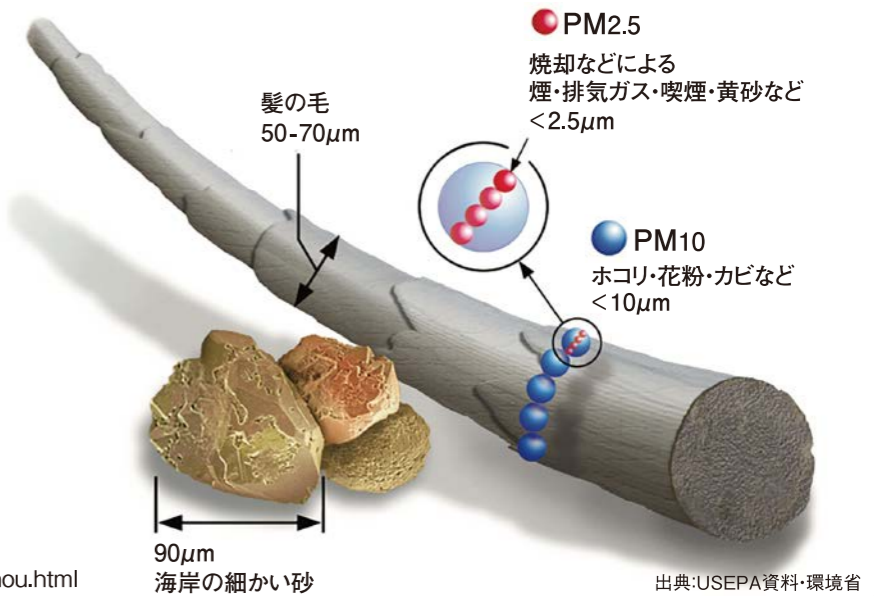
エコチル調査では、調査参加者の5%(全国で5,000人、高知で340人)の方にご協力をいただいて、「詳細調査」を行っています。詳細調査の中には、各ご家庭を訪問して、室内・屋外の空気中の化学物質や微小粒子などを測定する環境の調査も含まれています。高知エコチル調査のご家庭で測定させていただいたPM2.5の結果をご報告します。



国内のPM2.5の環境基準は「1年平均値が15 $\mu\text{m}/\text{m}^3$ 以下かつ1日平均値が35 $\mu\text{m}/\text{m}^3$ 以下」と定められており、1日平均70 $\mu\text{m}/\text{m}^3$ を超える場合は、健康に影響する可能性が高く、不要な外出はさけるべきという指針がでています。今回のこうちエコチル調査の結果では、屋外は全ご家庭が30 $\mu\text{m}/\text{m}^3$ 以下で環境基準値内でした。県が屋外で行っている大気調査でも、安芸市、香美市、高知市、いの町、須崎市、四万十市の6箇所を測定し、年間を通じてPM2.5の濃度が環境基準値を超えていないことが確認されています。室内については一部のご家庭で、健康の影響が心配される濃度となっていました。室内のPM2.5の発生源には、たばこ、調理、ガスや石油ストーブ、ダニ、カビなどがあり、PM2.5は粒子の直径が2.5 $\mu\text{m}$ というだけで、その成分は様々です。特に、室内の発生源のひとつであるたばこの煙には多くの有害な微小な粒子が含まれており、加熱式電子タバコからもPM2.5が発生することがわかっています。健康のためできるだけPM2.5の少ない空気を吸えるようにしたいですね。

### PM2.5って何?

大気中に浮遊している2.5 $\mu\text{m}$ (マイクロメートル。1 $\mu\text{m}$  = 1/1000mm)以下の小さな粒子状物質のことで、地域、季節、気象条件などによって、その成分も変動します。PM2.5は非常に小さいため肺の奥深くまで入りやすく、呼吸器や循環器系など健康への影響が心配されています。そのため、日本では、大気汚染防止法に基づき、工場・事業場等のばい煙発生施設の規制や自動車排出ガス規制などを行い、PM2.5の年間の平均的な濃度は減少傾向にあります。



PM2.5についてもっと知りたい方は  
環境省の「微小粒子状物質(PM2.5)に関する情報」  
<https://www.env.go.jp/air/osen/pm/info.html>  
高知県の環境状況について  
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030801/pm25-sokuhou.html>